

国際人権法学会

第34回（2022年度）研究大会プログラム

日時：2022年11月19日（土）・20日（日）

会場：中央大学多摩キャンパス（会場：FOREST GATEWAY CHUO）

開催校幹事：中坂 恵美子（中央大学文学部教授）

後援：中央大学

[テーマ]

「いま、あらためて人権を考える

—水平社宣言100年・沖縄復帰50年—

企画趣旨

今回の研究大会は、テーマを「いま、あらためて人権を考える」としたうえで、今年が水平社宣言100年、また沖縄復帰50年にあたることから、日本社会における人権の現状や課題といった問題群について、「差別」や「分断」という概念を鍵として、多角的に検討する2日間をしたい。

1日目は、水平社宣言100年および沖縄復帰50年について、それぞれ研究者と実務家のペアで、合計4人の報告を得たのち、これらを踏まえた日本社会の人権問題について、社会学者による特別講演と、関連する問題に触れる指定発言を予定している。1日目の最後には、ラウンドテーブルで討議を行う。

2日目は、外務省人権人道課長の講演、国際人権関係の3判例についての報告、さらに、国際刑事裁判所元裁判官および国際司法裁判所裁判官による現状報告を予定している。

第1日(11月19日(土))

受付開始 9:30 会場: FGC ホール

◆ 午前の部 (10:00 ~ 11:45)

- 1 理事長挨拶 (10:00~10:10) 山元 一 (慶應義塾大学, 理事長)
- 2 企画趣旨の説明 (10:10~10:20) 南野 森 (九州大学, 企画委員会主任)
- 3 水平社宣言 100年 (10:20~11:40) 司会: 南野 森 (九州大学, 企画委員会主任)
谷口 真由美 (大阪芸術大学, 企画委員会副主任)
 - (1) 李 嘉永 (近畿大学)
「部落差別の撤廃と国際人権法」
 - (2) 中井 雅人 (大阪弁護士会)
「部落差別に対する法的保護の現状と課題
——全国の被差別部落の一覧表の差止等請求訴訟から検討する」

< 昼休み (11:45~13:15) > ※休憩室: F405-406 教室

◇ 総会 (13:15 ~ 13:45)

◆ 午後の部 (13:45 ~ 18:00)

- 4 沖縄復帰 50年 (13:45~15:10) 司会: 鈴木 雅子 (東京弁護士会, 企画委員会副主任)
谷口 真由美 (大阪芸術大学, 企画委員会副主任)
 - (1) 阿部 藹 (琉球大学)
「復帰 50年に問い直す『沖縄の人々の自己決定権』という問い」
 - (2) 高木 吉朗 (沖縄弁護士会)
「米軍基地由来の有害物質汚染——日米地位協定と環境法」
- 5 指定発言 (15:10~15:40)
 - (1) 小坂田 裕子 (中央大学)
「『先住民族の権利に関する国連宣言』から見たアイヌ施策推進法を巡る議論(仮)」
 - (2) 石川 えり (認定 NPO 法人難民支援協会)
「日本に逃れた難民の人権——支援団体の視点から」

< 休憩 15分 (15:40~15:55) >

- 6 ゲスト・スピーカー講演 (15:55~16:40) 司会: 南野 森, 鈴木 雅子, 谷口 真由美
岸 政彦 (立命館大学)
「流動と分断——我々は『誰』に向かって呼びかけるのか」
- 7 ラウンドテーブル (16:40~18:00)
岸 政彦, 李 嘉永, 中井 雅人, 阿部 藹, 高木 吉朗, 小坂田 裕子, 石川 えり

第2日（11月20日（日））

受付開始 9:00 会場：FGC ホール

◆ 午前の部（9:30～12:30）

8 国内判決例研究（9:30～12:30） 司会：大谷 智恵（大阪弁護士会，企画委員会委員） 楠 晋一（大阪弁護士会，企画委員会委員）

(1) 強制送還違憲判決（東京高判、名古屋高判）（9:30～10:30）

- ① 高橋 済（東京弁護士会）
- ② 松田 浩道（国際基督教大学）
「憲法判断と条約判断」

(2) 名古屋日照権訴訟（名古屋地判 2021 年 3 月 30 日）（10:30～11:30）

- ① 川口 創（愛知県弁護士会）
「子どもの権利条約を法廷でどう活用するか——名古屋教会幼稚園おひさま訴訟判決から」
- ② 大谷 美紀子（東京弁護士会）

(3) クルド人難民認定訴訟（札幌高判 2022 年 5 月 20 日）（11:30～12:30）

- ① 山田 幸司（札幌弁護士会）
「札幌高裁令和4年5月20日判決と、トルコ国籍クルド人に対する初めての難民認定」
- ② 安藤 由香里（大阪大学）
「札幌高裁令和4年5月20日判決——トルコ国籍クルド人難民認定の意義と難民関連訴訟の課題」

< 昼休み（12:30～14:00） > ※休憩室：F405-406 教室

◇ インタレストグループ報告会

- ICC インタレストグループ（F308-309 教室）
テーマ「ウクライナ紛争をめぐる国際刑事法の諸問題」
- 多層的人権保障システム研究インタレストグループ（F310-311 教室）
テーマ「ヨーロッパ人権裁判所における注目判例紹介」

◇ 若手人権問題研究会（F307 教室）

◆ 午後の部（14:00～16:45）

9 外務省講演（14:00～14:45） 司会：南野 森（九州大学，企画委員会主任） 高澤 令則（外務省人権人道課長（予定））

10 国際機関・国際裁判所等の活動報告（14:45～16:45）

司会：高山 佳奈子（京都大学，企画委員会委員）
根岸 陽太（西南学院大学，企画委員会委員）

- (1) 尾崎 久仁子（中央大学，元国際刑事裁判所裁判官）
「国際刑事裁判所の現況——ウクライナと補完性の原則を中心に」
- (2) 岩沢 雄司（国際司法裁判所裁判官，東京大学名誉教授）
「国際司法裁判所と人権」